

青森県西目屋村

住所	〒036-1492 青森県中津軽郡西目屋村田代神田57
村長	桑田 豊昭
HP	http://www.nishimeya.jp/index.html
バイオマス産業都市 選定年度	2017年度
バイオマス産業都市構想	https://www.jora.jp/wp-content/uploads/2021/02/4_nishimeya.pdf
担当部署	森林バイオマス推進室
連絡先 TEL	0172-85-2808
連絡先 FAX	0172-85-3040



事業化プロジェクトの概要

名称	住宅団地への熱供給事業	
実施主体	西目屋村	
使用する技術	直接燃焼	
実施体制	プラントメーカー	(株)タケザワ（薪ボイラー）
	設計・施工業者	(株)東邦設備工業所（施工）
概要 (計画)	バイオマス原料	未利用間伐材等
	原料処理量(t/年)	132t（R2実績）
	原料投入量(t/年)	同上



住宅団地熱供給施設



住宅団地熱供給施設内 薪・ボイラー

名称	公共施設への木質バイオマスボイラー導入事業	
実施主体	西目屋村	
使用する技術	直接燃焼	
実施体制	プラントメーカー	未定
	設計・施工業者	未定
概要 (計画)	バイオマス原料	未利用間伐材等
	原料処理量(t/年)	205t

名称	官民連携による木質バイオマス燃料製造・エネルギー供給事業	
実施主体	西目屋村、西目屋薪エネルギー(株)	
概要 (計画)	バイオマス原料	未利用間伐材等
	原料処理量 (t/年)	218t (H30～R2実績の平均)
	原料投入量 (t/年)	同上
	生産物	薪



原料製造薪



燃料製造ライン

バイオマス事業の進捗状況

事業化プロジェクト	進捗状況
1.住宅団地への熱供給事業	H30年度より稼働
2.公共施設への木質バイオマスボイラー導入事業	R2年度調査実施、R3年度継続調査予定
3.官民連携による木質バイオマス燃料製造・エネルギー供給事業	H29年度より実施中
4.体験型観光業（エコツーリズム）・環境教育事業	R3年度より調査実施（県事業）

イニシャルコスト (千円)

事業化プロジェクト	1.住宅団地への熱供給事業	3. 官民連携による木質バイオマス燃料製造・エネルギー供給事業
建設費・設備費等	312,000	100万円程度 (薪割り機、チェーンソー等)

ランニングコスト (千円/年)

事業化プロジェクト	1.住宅団地への熱供給事業	3. 官民連携による木質バイオマス燃料製造・エネルギー供給事業
人件費	66万円	560万円
原料等購入費	290万円	460万円
ユーティリティ費	68万円 (電気代)	

事業の経営状況

事業化プロジェクト	計画との進捗比較※	事業実施による効果	
		効果	数値化
1.住宅団地への熱供給事業	C	人件費および原木購入費の地域還元	336万円
2.公共施設への木質バイオマスボイラー導入事業	C		
3. 官民連携による木質バイオマス燃料製造・エネルギー供給事業	B	人件費および原木購入費の地域還元	1020万円
4. 体験型観光業 (エコツアーリズム) ・環境教育事業	C		

※ A)計画以上に進捗している B)ほぼ計画通り C)計画より遅れている D)進んでいない

成功要因

事業化プロジェクト	成功要因
1.住宅団地への熱供給事業	冬期の融雪を行うという住民ニーズのある事業であったため。 冬期の雇用に対する地域のニーズがあったため。 民間企業（官民連携設立企業）に運営委託により柔軟な運営が可能なため。
3. 官民連携による木質バイオマス燃料製造・エネルギー供給事業	公共施設へのバイオマスボイラー導入により、確実な需要先が確保されているため。 民間（官民連携設立企業）の運営により柔軟な運営が可能なため。

波及効果（雇用増加、CO2削減効果等）

事業化プロジェクト	成功要因
1.住宅団地への熱供給事業	仕事なくなる冬期の雇用創出に貢献 道路融雪により住民に快適な住環境を提供
3. 官民連携による木質バイオマス燃料製造・エネルギー供給事業	薪製造にかかる雇用創出 村内からの原木の買取りにより、森林の整備依頼が増加

停滞要因

事業化プロジェクト	停滞要因
2. 公共施設への木質バイオマスボイラー導入事業	採算性があまりよくなく、改善検討中
4. 体験型観光業（エコツーリズム）・環境教育事業	事業の検討・実施ができる人材不足

運営上の課題

事業化プロジェクト	運営上の課題
3. 官民連携による木質バイオマス燃料製造・エネルギー供給事業	事業の拡大、収益性の改善（公共施設向けのみでは事業が拡大せず、収益性も低い）

受けたい支援内容

バイオマスボイラー導入の可能性調査、設計支援